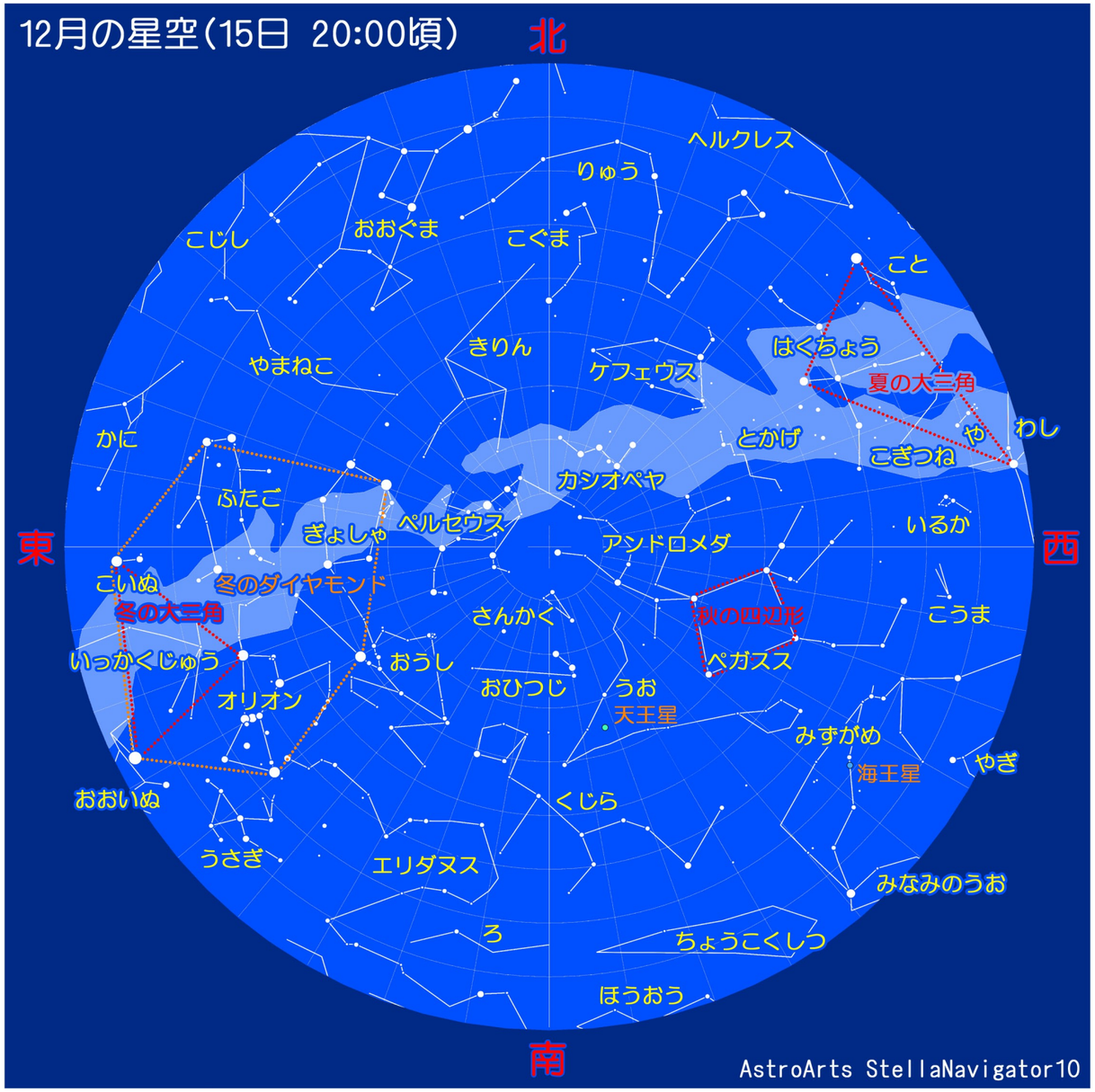
銀河の森天文台
2017年12月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆うさぎ座Ｒ星（恒星）

うさぎ座Ｒ星は、非常に赤い星でクリムゾンスターと呼ばれています。この星は炭素星という、普通の星よりも炭素を多く含む星で普通の星よりも赤く輝いています。またミラ型の変光星であり、約427日の周期で変光し、今は一番暗い時期になります。炭素星は暗い時の方が赤く見えるため、ちょうど今が一番赤く見える時期となります。

距離：約1100光年

うさぎ座Ｒ星

月

		出	没
4日	満月	16:40	06:46
10日	下弦	23:18	11:52
18日	新月	06:19	16:06
26日	上弦	11:25	23:37

天文台から月を見ることができるのは 1～7日頃と22～29日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

天王星・海王星

太陽系の外側から２つの惑星、天王星と海王星が見頃を迎えています。天王星はグリーンっぽく、海王星はブルーっぽく見えるのが印象的です

太陽からの距離

天王星：約29億km

海王星：約45億km

ふたご座流星群

三大流星群のひとつ、ふたご座流星群が12月14日に極大を迎えます。今年は月明かりの影響が少なく、流星を見るには好条件です。

極大の頃には、1時間に50個程度の流星が観察できるのではないかと予測されています。

M1（超新星残骸）

おうし座にある星雲で、「かに星雲」と呼ばれています。M1は1054年に出現した超新星の残骸で、このときの超新星爆発は、日本でも「明月記」に記録が残っています。

距離：約7200光年

アルマク（重星）

色違いの重星としては、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、アンドロメダ座のアルマクも美しさでは負けていません。青とオレンジ色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

M37（散開星団）

ぎょしゃ座にある明るい３つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

M35（散開星団）

ふたご座のお兄さんの足元に位置する、明るく大きな散開星団です。約500個の星からなり、15cm双眼鏡では、微光星が密集した見事な姿を見ることが出来ます。

距離：約2850光年

ちょっとマニア

・NGC1514（惑星状星雲）

おうし座に位置する惑星状星雲で、クリスタルボール星雲という愛称がついています。りくる望遠鏡で中心星やその周り青色の星雲の濃淡を観察することができます。

距離：？

その他おすすめ

- M42（散光星雲）
- M76（惑星状星雲）
- NGC1535（惑星状星雲）
- NGC2392（惑星状星雲）
- ガーネットスター（恒星）

12・1月 銀河の森天文台カレンダー

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日